

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
アルストロメリア	山形	<ul style="list-style-type: none"> ・生育は、最低温度10～13℃程度で加温管理が行われていることから、順調に推移している。 ・1月の出荷量は、作付面積が前年よりやや減少しているものの、生育が順調であることから前年並みが見込まれる。 ・病害虫の発生は少なく、切り花品質は良好である。 	<p>現状</p> <p>各産地、11月からの気温により出荷数量も増加傾向にあったが、12月に入っての急激な低温の影響から開花が鈍り、大きく数量が減少した。中旬より相場は回復し、赤系中心に引き合いが強まった。</p> <p>見通し</p> <p>大田花き 愛知、長野中心に数量は安定して入荷する見込み。上位等級の割合が増加してくるが、各等級ロットが纏まる見込み。530,000本 @80</p>
	茨城	<ul style="list-style-type: none"> ・出荷量は例年よりやや少ない見込み。 	<p>FAJ 花束需要を中心に安定した取引となるだろう。相場も安定し保合相場の見込み。</p> <p>東日本板橋花き 愛知、福島、青森中心の入荷年末需要で引き合いがある。</p>
			<p>世田谷花き 入荷・引き合い落ち着くが、一定の需要。</p> <p>第一花き</p>
さくら	山形	<ul style="list-style-type: none"> ・花芽の着生は良好である。 ・促成は平年並みの12月上旬から本格化し、促成開始後の花芽の生育は順調である。 ・出荷は平年並みの12月中下旬から開始されている。 ・出荷量は、花芽着生が良好であり、雪害による枝折れも少ないことから前年よりやや多い見込みである。 	
バラ	茨城	<ul style="list-style-type: none"> ・出荷見込みは平年並みの見込み。 	<p>現状</p> <p>国内の低温の影響で入荷量はやや減少。クリスマス関係は昨年の単価より30円～40円高く推移。本年度はブライダル需要も活発で、白系品種などは昨年の2倍近い価格で取引される。輸入品に関しては、エクアドル系の赤が昨年より多いが、単価は堅調に推移。年末も低温の影響で入荷が少ない。</p> <p>見通し</p> <p>成人式付近までは堅調に推移する見込みだが、中旬から後半にかけて、入荷量も増加、引き合いも弱くなり、厳しい展開が見込まれる。高冷地産など加温を極力落とす為、出荷が不安定になる産地もある。2,000,000本 @80</p>
	山梨	<ul style="list-style-type: none"> 生育は昨年より2日程度遅い。 うどんこ病の発生が少し見られるが生育は概ね順調。 	<p>大田花き</p>
			<p>FAJ 年末の需要期が過ぎ、引き合い、相場ともに落ち着いた取引がつづく。</p> <p>東日本板橋花き 成人の日以降はこれといった需要が無く冷え込みが厳しくなる予報で、入荷は減少する見込みです。</p> <p>世田谷花き 入荷量は引き続き少ない予想。相場は保合。</p> <p>第一花き</p>

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
ストック	千葉	<p>①生育の前進化で出荷が12月に前倒しになったことや台風等による定植遅れの影響で、中旬までは平年の約8割の出荷量となる。下旬は平年並みに戻る見込み。</p> <p>②アイアン系品種、カルテット系品種が中心となる。館山市の神戸はスプレー中心でほぼ全てカルテット系。西岬はスタンダード中心で、そのうち8割がアイアン系。</p> <p>③JA安房ストック部会は12月2日に出荷査定会とほ場巡回を行い、切前、品質を確認した。</p>	<p>現状 12月2週目に入り、山形中心に冷え込みと前進開花の影響を受けて入荷量大きく減少。それに伴い相場も昨年以上に回復。千葉も少しずつ出荷量増えるが、26日の納品調整は避けられない状況。</p> <p>見通し 東北中心に前進開花していた分、年明け出荷終了する産地も出てくる見込み。千葉産は今後の天候次第だが、月末にかけて徐々に増加傾向。相場は堅調に推移する見込み。</p> <p>大田花き</p> <p>FAJ 引き続き千葉より入荷あり。STD/SPともに例年に比べやや少なめの入荷となるだろう。</p> <p>東日本板橋花き</p> <p>世田谷花き 東北産は、ほぼ終了。全体としては、流通量少なく、高値続く模様。</p> <p>第一花き</p>
トルコギキョウ	熊本	<p>年内分に関して温度確保の対策は行っているが、冷え込みや日照不足の為、1月にずれ込むものもあると思われる。年明けは微増の見込みで、厳寒期に入るため、換気等の管理により品質の維持に努める。</p>	<p>現状 九州方面の遅れていたものもあり旬は比較的安定した入荷。中旬以降、天候も安定せず気温も低下したことから入荷は減少。輸入は昨年に比べ数量が出ていたが、台湾も気温が低く思ったほど数量が伸びず。品薄になるにつれ相場も上がり、月末は年末年始需要を中心に活発な取り引きとなる。</p> <p>見通し 定植時期により生育遅れなど見受けられるが総じて例年並みの入荷見込み。他品目の状況にもよるが葬儀需要を中心に動きは見込まれる。</p> <p>大田花き</p> <p>FAJ 葬儀関係の需要を中心に引き合い、相場ともに安定した取引が続く見込み。</p> <p>東日本板橋花き 年内の切残しが年明け出てくるので相場は弱保合。</p> <p>世田谷花き 台湾産を中心に高知・熊本などから入荷。受注対応中心。</p> <p>第一花き</p>
小ギク	沖縄	<p>台風被害も影響ない作型で生育は概ね順調12月予定出荷が一部1月にシフトしたことで前年よりやや増加している。配色バランスは黄：白：赤＝40：30：30で白系が割合が高かった年末と比較して配色バランスが良くなっている。</p>	<p>現状 年末需要に向け各地入荷増加。前半は冷え込みと天候被害の影響で入荷が少なめで推移し、堅調な取引となる。色目に関しては赤、黄と天候被害の影響により、入荷少なめで月を通して強めの引き合いとなった。</p> <p>見通し 各地 中旬を境に入荷少なめの状況を見込む。特に色目に関しては赤白がやや少なめとなりそうな状況となっている。山形は年内で出荷終了の見込み。</p> <p>大田花き</p> <p>FAJ 沖縄からの入荷がメイン。東需要を中心とした落ち着いた取引となる見込み。</p> <p>東日本板橋花き 業務中心、動き鈍い見込み</p> <p>世田谷花き 入荷はある。見込みだが、単価はまちまち。</p> <p>第一花き</p>